

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		運動療育特化型児童デイサービス ほぶらの樹 平野		公表日		R8年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	家具の配置を変更し、定員数に合った広さで療育を行っている。	特に課題はなし	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		日によって人員が少ない日もあるが、他事業所と協力し人員確保に努めている。	特に課題はなし	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		危険個所の確認、設置物の劣化に即対応しています。	特に課題はなし	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		日々の清掃、換気等心地よい環境設定を行っている。	子ども達の綺麗に使う意識を上げられるように一緒に取り組んでいく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個別に落ち着ける空間を設けている。	特に課題はなし	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		無理なく働ける目標を意識して設けている。	特に課題はなし	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		アンケートや懇談を定期的実施し、業務改善に繋げている。	特に課題はなし	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的な面談、事業所内での日々の関りから聞き取りを行い、業務改善に繋げている。	特に課題はなし	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	保護者の意見の収集を行いながら改善を随時行っている。	別の形で評価を集め改善に繋げられる形を設けていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		年間研修計画をもとに研修を毎月行っている。	特に課題はなし	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		当法人内のホームページに公表している。	特に課題はなし	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		保護者のニーズや困りごとの収集を行い、ご利用の様子を含め計画の作成を行っている。	現場の声も吸い上げながら多角的な目線で作成していく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児童発達支援管理責任者が作成した案をもとに支援会議を行い、作成を行っている。	特に課題はなし	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		計画を全職員で共有、目標達成に向け共通支援を行っている。	特に課題はなし	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	日々のケース記録を通して変化を記録し、職員間の確認を行っている。	ツールの作成、共有	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	4	本人支援を中心に家族、地域連携等対応している。	家族支援等必要な支援の洗い出し、実施していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		全職員での立案、作成を行っている。	特に課題はなし	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		多角的に意見、要望を取り入れ活動を作成している。	特に課題はなし	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		子どもの状況、保護者のニーズに合わせて計画を行い、支援を行っている。	特に課題はなし
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日朝礼を行い、役割、情報共有を行いチーム連携を活かした支援を行っている。	特に課題はなし
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		毎日終礼を行い、一日のフィードバックを行っている。	特に課題はなし
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		ケース記録を必ず記載、保護者様へ記録内容を確認いただいている。	特に課題はなし
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		必要に応じて進め、最低でも半年に一回の見直しを行っている。	特に課題はなし
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者が出席している。	特に課題はなし
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要に応じた連携を行っている。	特に課題はなし
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	必要に応じて保護者を通じた連携、情報共有を行っている。	特に課題はなし
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	懇談等保護者との交流の中で不安等の収集を行っている。	特に課題はなし
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		7	事業所内、法人内での連携に一部とどまっている。	機会を設けられていない為、連携をはかり、必要に応じて助言等を頂ける体制を作っていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7	事業所内での目標達成を目指している。	目標の達成をもとに地域との交流、社会性を広げられる機会を作っていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎での対面時、連絡帳等日々の様子の共有を行っている。	特に課題はなし
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7	電話や面談等様々な形でご家族に合った意見の共有を行っている。	ペアレントトレーニング、家族に向けた研修の実施を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時、内容更新時に必ず説明を行い、不明な店頭にも対応している。	特に課題はなし
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		送迎や懇談等で出たニーズ、要望をもとに意向に合わせて計画作成を行っている。	特に課題はなし
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		保護者へ内容説明を行い、同意まで必ず得ている。	特に課題はなし
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		必要に応じて送迎時や電話は、懇談を実施している。	特に課題はなし

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	懇談等ニーズを収集する中で兄弟と交流する機会を設けている。	保護者交流会の実施を検討していく。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		全職員での対応体制の整備、相談や申し入れがあった際には迅速かつ適切に対応している。	特に課題はなし	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月の行事予定表の配布、SNS等を活用し、行事内容を日々発信している。	特に課題はなし	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報を厳重に保管できる鍵付きロッカー及び、社外への情報漏洩を固く禁じている。	特に課題はなし	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		伝わりやすい言葉選び、絵カード等の視覚支援を行っている。	特に課題はなし	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		ブログ等のSNSを通して発信を行っている。	地域に向けた事業運営を検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルの整備、ミーティングを通じた共有を行っている。	研修後のフィードバックの時間等知識の定着を図っていく。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPを作成し、年二回以上の避難訓練を行っている。中には消防署職員の方に来ていただく取り組みも実施している。	特に課題はなし	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		契約時の確認、その後の経過について入念な情報共有を行い対策、確認を行っている。	特に課題はなし	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時、その後保護者よりお話を伺いながら指示に基づき対応を行っている。	特に課題はなし	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		災害、事故等室内室外にかかわらず防止に向けた研修を行い、安全意識を高めた上で支援を行っている。	特に課題はなし	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		7		事故防止への取り組み、安全意識の共有を行っているが、事業所内での共有が多い。	緊急の連絡先など既に行っている取り組みを再度周知徹底していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			ヒヤリハット報告書をもとに全職員共有、改善策を話し合っている。	特に課題はなし
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			社内、社外等外部の研修を含め全職員が学べる機会を設けている。	特に課題はなし	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			身体拘束に関する同意書をもとに保護者への説明、了承を得た上で計画書への記載も行っている。	特に課題はなし	